

6月18日(月)講座「課題の発表」

生徒は原子・放射線など(原発事故も含む)について学習し、グループ毎に霧箱実験を実施しました。過飽和状態にあるアルコールの中を α 線が飛ぶことにより、白い色の線(α 線の飛跡)が生じる現象を観察しました。





今回の高大連携講座において、生徒達を指導して下さった植松英穂教授(日本大学理工学部物理学科)です。

